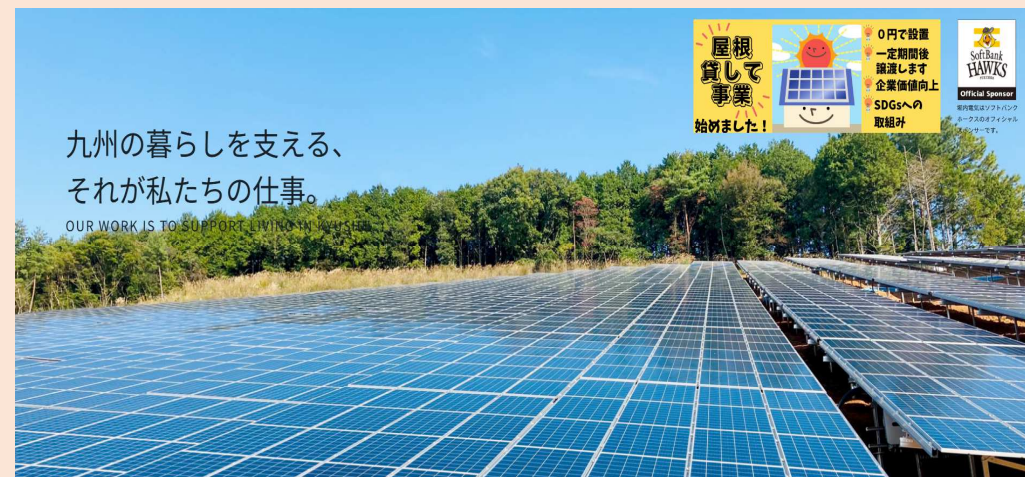


# エコアクション21 環境経営レポート

運用期間 2024年4月～2025年3月  
(2024年度)



株式会社 堀内電気

2025年6月発行

# 目次

1. 組織の概要等	
1-1 組織の概要	1
1-2 認証・登録の対象組織・活動	1
1-3 太陽光発電工事等の事業活動による環境への貢献	2
2. 環境経営方針	3
3. 実施体制図	4
4. 環境経営目標	5
5. 環境経営計画	6～8
6. 実施した取組内容	9～13
7. 環境経営目標実績	14・15
8. 環境経営目標・環境経営計画の実績と次年度の取組	16～20
9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果	
並びに違反・訴訟等の有無	21
10. (1) 代表者による全体の評価	22
(2) 見直しの結果	
(3) 次年度の目標	

安全大会のポスター  
を募集し、従業員の  
お子さんが描いた  
キャラクターです！



# 1-1. 組織の概要

- 事業者名      **株式会社堀内電気**
- 代表者名      代表取締役 堀内 重夫
- 所在地          本社 〒812-0861 福岡県福岡市博多区浦田1丁目5番46号  
志免資材置場 福岡県糟屋郡志免町別府1丁目3-3
- 環境管理責任者      那須 香織
- 担当者（委員会）      松尾 晋一、小串 貴章、中島京吾、原野 美智、生田 祐美
- 連絡先          TEL：092-513-3377    FAX：092-513-3388
- メールアドレス：hec.ltd@hyu.bbiiq.jp
- 事業活動内容
  - ①太陽光発電設備工事（蓄電システム工事・販売業含む）
  - ②電気工事(一般、特高、空調、オール電化、LED、LAN、防犯カメラ)
- 事業年度      4月～翌年3月



堀内電気はソフトバンク  
ホークスのオフィシャル  
スポンサーです！



電気自動車の充電スタンドを設置しませんか？

電気自動車の充電スタンドを取り付けるのは、費用がかかると思いませんか？  
適切なコンセントがあれば、簡単に設置でき、そんなに費用もかかりません。  
社有車に電気自動車を取り入れている企業様は、ランニングコストを考えると、自社に充電スタンドを設置する方が、お得になる場合もありますので、ぜひご相談ください。

家庭用の  
充電設備の  
取付も行って  
います。



## 電気工事・太陽光発電・EV充電器・船舶用太陽光などの 事業を行っています

	単位	2022年度	2023年度	2024年度
売上高（税抜）	百万	1,284	981	1,864
工事件数	工事件数	260	303	353
従業員数	人	25	30	34
事務所床面積	m <sup>2</sup>	535.9	535.9	535.9
資材置場敷地面積	m <sup>2</sup>	180.8	180.8	180.8

# 1-2. 対象範囲

全組織（本社、志免資材置場）  
全活動



※会社案内で紹介している大隅・出水・長崎営業所はグループ会社の管轄となります。

### 1-3. 太陽光発電工事等による二酸化炭素排出量削減（2024年度）

太陽光発電 設備施工分	2024年度工事量	年間発電量
	31,138 kW	34,251,800 kWh

(注1) パネル1kW当たりの、年間平均発電量が1,100kWhなので、  
 $1,100 \times 31,138 = 34,251,800$  (kWh)  
 $34,251,800 \times 0.0003895 = 13,341$  (t-CO<sub>2</sub>)

※太陽光CO<sub>2</sub>削減量算出はJPEAの「表示に関する業界自主ルール(2023年度)」0.0003895t-CO<sub>2</sub>/kWhを使用

LED工事分	工事前	工事後	電力削減量
	36.2 kWh	15.7 kWh	20.5 kWh

(注2)  $20.5\text{kWh} \times 0.402\text{kg-CO}_2/\text{kWh} = 8.24\text{kg-CO}_2$

※LEDのCO<sub>2</sub>削減量算出は九州電力のCO<sub>2</sub>排出係数（2023年度調整後）0.402kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用

自社所有太陽 光発電設備分	発電量	消費電力量	年間発電量
	10,659,999 kWh	12,725 kWh	10,647,274 kWh

(注3) 自社所有発電は、売電しています。  
 年間発電量は、発電量から機器を動かす為の消費電力量を  
 引いた、合計の発電量を意味しています。  
 $10,659,999 - 12,725\text{kWh} = 10,647,274\text{kWh}$   
 $10,647,274\text{kWh} \times 0.0003895\text{t-CO}_2/\text{kWh} = 4,147\text{t-CO}_2$

この二酸化炭素削減量をスギの木に置き換えると、一本あたりの年間CO<sub>2</sub>吸収量は14kg（\*1）程度であることから、

**スギの木約125万本分の吸収量に相当します。**

※出典：林野庁

二酸化炭素排出量削減量

13,341 t-CO<sub>2</sub>

(注1)



二酸化炭素排出量削減量

0.00824 t-CO<sub>2</sub>

(注2)



二酸化炭素排出量削減量

4,147 t-CO<sub>2</sub>

(注3)



二酸化炭素排出量合計

17,488 t-CO<sub>2</sub>

## 2. 環境経営方針

株式会社堀内電気は、事業活動である電気工事業を通じて、環境負荷の低減、持続可能な循環型社会の構築に貢献します。

次に挙げる行動指針に基づき環境マネジメント活動を推進して地域そして地球環境保全に貢献する企業を目指します。

< 行動指針 >

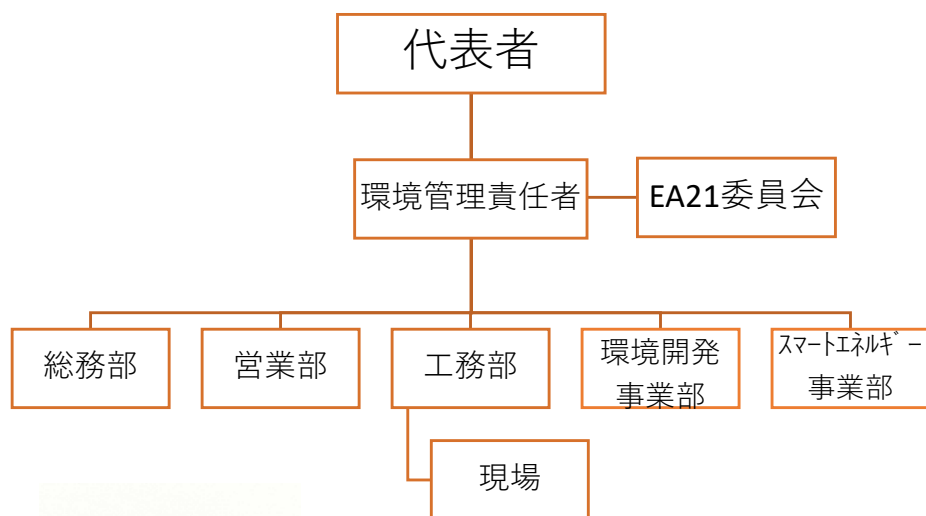
1. 当社の業務運営に関わる環境影響を常に認識し、環境汚染の予防を推進するとともに、環境マネジメント活動の継続的改善を図ります。
  2. 顧客に対して、省資源・省エネルギー・環境へ配慮した製品の提案に努めます。
  3. 当社に関連する環境関連法規を遵守します。
  4. 当社の事業活動に係わる環境影響のうち、以下の項目を環境重点テーマとして取りくみます。
    - (1) 再生可能エネルギー事業及び省エネルギー関連機器普及の推進
    - (2) 二酸化炭素排出量の削減
    - (3) 廃棄物排出量の削減とリサイクルの促進
    - (4) 節水に努め、水使用量を削減する
    - (5) 社会貢献活動
    - (6) グリーン製品の使用を促進
    - (7) 化学物質の適正管理
    - (8) 人材確保・人材育成の充実
  5. この行動指針を全社員が積極的に実践できるように、全社員・協力会社に周知し、社外にも公開します。
- 上記行動指針達成の為、目標を設定し、定期的に見直しを行い、環境活動を推進します。

2012年 10月 1日 制定

2021年 7月 15日 改定

株式会社 堀内電気  
代表取締役 堀内 重夫

### 3. エコアクション21実施体制図



2023年度よりEA21委員会を設置しました。

役割分担表

所属	役割・責任・権限
代表者	<p>代表者（社長）は環境経営全般について最高責任者として以下の責任と権限を負う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境方針の作成・見直し及び従業員への周知。</li> <li>・環境管理責任者・EA21事務局員の任命。</li> <li>・環境経営の構築・実施・維持管理に必要な資源（人員・設備・資金）を準備する。</li> <li>・EA21全体の評価と見直しを実施し、必要な改善を環境管理責任者に指示する。</li> </ul>
環境管理責任者	<p>環境管理責任者は環境経営を構築・実施・維持する責任者として以下の責務・権限を負う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境方針の各部門長への伝達・全従業員への周知・徹底を指示。</li> <li>・環境目標・環境活動計画の作成し環境目標の達成状況及び環境活動計画の実行状況を確認する。</li> <li>・上記結果の代表者への報告。</li> <li>・環境経営全体の評価・確認を行い、見直しに必要な情報を代表者へ報告、代表者の指示を実施に移す。</li> </ul>
部門長	<p>各部門長は、以下の責務・役割を負う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境方針・環境目標・環境活動計画を部門内従業員へ周知する。</li> <li>・環境目標・環境活動計画達成のため、責任をもって環境活動を推進する。</li> <li>・問題の発生に対する是正・予防処置の実施。</li> </ul>
EA21事務局	<p>EA21事務局は、以下の責務・役割を負う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者を補佐しEA21文書・記録類、及び基礎データの作成・維持・集計・管理を行う。</li> <li>・社外からの情報収集及び周知を行う。</li> </ul>
従業員	<p>EA21活動計画を理解し、自らの環境活動の取り組みを行う。</p>



4. 2024年度 環境経営目標（中期計画）



環境経営目標		単位	直近5年間の数値 平均による基準値	2022年度	2023年度	2024年度
			(2017年4月～ 2022年3月)	(2022年4月～ 2023年3月)	(2023年4月～ 2024年3月)	(2024年4月～ 2025年3月)
事務所 現場	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	111,623	111,065以下 (△0.5%)	110,507以下 (△1%)	109,949以下 (△1.5%)
事務所	電気使用量の削減	kWh	68,311	67,969以下 (△0.5%)	67,628以下 (△1%)	67,286以下 (△1.5%)
事務所	ガソリン使用量の削減	L	7,745	7,706以下 (△0.5%)	7,668以下 (△1%)	7,629以下 (△1.5%)
事務所	燃費	km/L	13.0	13.1	13.1	13.2
現場	ガソリン使用量の削減	L	20,045	19,945以下 (△0.5%)	19,845以下 (△1%)	19,744以下 (△1.5%)
	燃費	km/L	11.8	11.9	11.9	12.0
	軽油使用量の削減	L	3,394	3,377以下 (△0.5%)	3,360以下 (△1%)	3,343以下 (△1.5%)
事務所	コピー用紙使用量の削減	kg	267	266以下 (△0.5%)	264以下 (△1%)	263以下 (△1.5%)
事務所 現場	産業廃棄物排出量の削減	t	38.25	38.06以下 (△0.5%)	37.87以下 (△1%)	37.68以下 (△1.5%)

備考：（ %）は、直近5年間の数値平均を基準とした削減率  
CO2排出係数は九州電力のCO2調整後排出係数（2020年度実績）0.479kg-CO2/kWhを使用しています  
※水使用量は、ビル全体での計測となるため測定不可

環境経営目標		単位	直近5年間の数値 平均による基準値	2022年度	2023年度	2024年度
			(2017年4月～ 2022年3月)	(2022年4月～ 2023年3月)	(2023年4月～ 2024年3月)	(2024年4月～ 2025年3月)
事務所	水使用量の削減 (ビル内共用)	-	個別計測不可 節水を心掛ける	個別計測不可 節水を心掛ける	個別計測不可 節水を心掛ける	個別計測不可 節水を心掛ける
事務所	ペットボトルのキャップ・使用済み切手の回収	個	ペットボトルキャップを集めて再資源化へ	ペットボトルキャップを集めて再資源化へ	ペットボトルキャップを集めて再資源化へ	ペットボトルキャップ・使用済み切手を集めて再資源化へ
現場	地域イベント時の設営協力などの地域貢献	件	数件/年	数件/年	数件/年	数件/年
事務所	地域清掃	回	会社周辺のゴミ拾い1回/月	会社周辺のゴミ拾い1回/月	会社周辺のゴミ拾い1回/月	会社周辺のゴミ拾い1回/月
事務所	事務用品のグリーン購入の推進	-	グリーン製品優先購入	グリーン製品優先購入	グリーン製品優先購入	グリーン製品優先購入
現場	再生材有効活用	-	再生材有効活用	再生材有効活用	再生材有効活用	再生材有効活用
現場	化学物質の適正管理	-	使用製品に含まれる化学物質適正管理	使用製品に含まれる化学物質適正管理	使用製品に含まれる化学物質適正管理	使用製品に含まれる化学物質適正管理
現場	建設リサイクル推進	-	現場分別徹底他 余剰材料の有効活用	現場分別徹底他 余剰材料の有効活用	現場分別徹底他 余剰材料の有効活用	現場分別徹底他 余剰材料の有効活用
現場	環境配慮した現場施工	-	環境配慮低公害機械、 器具使用推進	環境配慮低公害機械、 器具使用推進	環境配慮低公害機械、 器具使用推進	環境配慮低公害機械、 器具使用推進
現場	LED照明及び太陽光発電設備の提案・販売	件	経験を活かした優位な提案を積極的に行う	経験を活かした優位な提案を積極的に行う	経験を活かした優位な提案を積極的に行う	経験を活かした優位な提案を積極的に行う
現場	船舶用太陽光・屋根貸して事業の普及	-	広告・広報などで普及活動	広告・広報などで普及活動	広告・広報などで普及活動	広告・広報などで普及活動
事務所 現場	人材確保・人材育成	-	地元学校との連携など人材確保・社員教育の充実	地元学校との連携など人材確保・社員教育の充実	地元学校との連携など人材確保・社員教育の充実	地元学校との連携など人材確保・社員教育の充実

# 5. 環境経営計画（2024年度）

## 1.二酸化炭素排出量の削減

項 目				具体的な取組活動						責任者	担当者
①	電気使用量の削減			●使用箇所だけ点灯し、未使用箇所の消灯確認。昼休み消灯 ●パソコン・機器等の未使用時の電源OFFの徹底 ●クールビズ・ウォームビズを実施し、過度なエアコン使用を抑える						株田	宮村・手島・大石・山下
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
											
②	ガソリン・軽油使用量の削減			●社有車をハイブリッド・エコカーへ切り替える ●エコドライブの推進、研修を行う ●燃費を算出して、目標値を設定する						宮村	全員
				●定期点検を行い、故障等の対処を早めに行う						宮村	原野・佐藤・船越・本山
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
各自、毎月燃費を記録。毎月車両チェックを行う											
5月：春の交通安全運動				9月：秋の交通安全運動							

## 2.コピー用紙・廃棄物排出量の削減

①	コピー用紙使用量の削減			●コピー用紙の裏紙使用の実施 ●コピーの必要性の確認の実施 ●可能なものは電子データでのやり取りの実施						小笠原	原野・手島・吉嶺・生田
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<----->				<----->				<----->			
②	産業廃棄物排出量の削減			●リサイクル可能なものは回収業者へ ●代替品利用の促進 ●廃棄物の分別を徹底する						小原	中島・松尾(晋)
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<----->				<----->				<----->			
6月までに産廃報告書提出											

## 3.水使用量の削減

①	水使用量の削減			●ステッカー等の掲示による社員への節水の意識付け						青木	原野・本山
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<----->				<----->				<----->			



SDGsとの関連



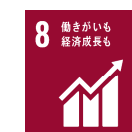


## SDGsとの関連



### 4. 社会貢献活動

項 目				具体的な取組活動							責任者	担当者
①	ペットボトルキャップ・使用済み切手回収			●ペットボトルのキャップを回収し、子供たちへの絵本へ ●使用済み切手を回収し、再資源化へ							青木	那須
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
<						>	<					>
②	地域イベント時の設営協力			●夏祭りなどの際の仮設電源工事など							小原	中西
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
<												>
				夏祭り: 毎年7月(未定)			<					>
③	地域清掃			●会社周辺の清掃 月一回、社員全員ビル及び周辺の清掃・ゴミ拾い。							那須	全員
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
<												>
	毎月、第1月曜日に全社員で実施					>	<					>



### 5. グリーン購入の推進

項 目				具体的な取組活動							責任者	担当者
①	事務用品グリーン購入推進			●エコマーク事務用品を優先して購入							上野	松尾(真)・大石
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
<						>	<					>
②	グリーン調達の促進(現場)			●建設資材グリーン調達/再生建設資材の購入							小原	小島・吉福
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
<							>	<				>



### 6. 化学物質の適正管理

項 目				具体的な取組活動							責任者	担当者
①	化学物質の適正管理			●使用する製品に含まれる化学物質の把握と管理。 廃棄物の適正処理							小原	佐藤・矢船
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
<							>	<				>



## SDGsとの関連



### 7.建設リサイクル推進

項 目				具体的な取組活動						責任者	担当者
①	建設リサイクル推進			●現場での分別を徹底して行い、再利用できるものを有効活用する						小原	恵美須・松尾(晋)
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
← 4～3月:毎月1回会議、週1回ミーティング				→							



### 8.LED照明及び太陽光発電設備の提案販売

項 目				具体的な取組活動						責任者	担当者
①	環境に配慮した現場施工			●車両にハイブリッド車を導入						青木	松尾(真)
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
←				→							
②	LED照明及び太陽光発電設備の提案			●会議にて進捗状況を確認し、情報を共有する						青木・小笠原	松尾(晋)・船越・小串
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
← 4～3月:毎月1回会議、週1回ミーティング				→							



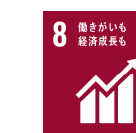
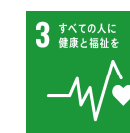
### 9.船舶用太陽光発電システム・屋根貸して事業の普及

項 目				具体的な取組活動						責任者	担当者
①	広告・広報などで普及活動			●広告・広報などで普及活動して、問合せにつなげる						小笠原	山下・本山・灘吉
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
← 4～3月:工事事例や行事などの活動報告をSNS配信(随時)				→							



### 10.人材の確保・人材育成

項 目				具体的な取組活動						責任者	担当者		
①	人材確保・人材育成の充実			●地元学校との連携・人材紹介会社との連携で人材を確保 ●社員教育を充実し、優秀な人材を育成 (勉強会・展示会への参加など)						青木	中島		
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
←				→				←				→	
5月:展示会(平岡電気)				7月:カンサイフェア・夏祭り				10月:安全大会実施予定(消火器の訓練)					
6月:熱中症予防教育				7月:インターンシップ・全国安全週間				10月:フォローアップセミナー				3月:東京開催展示会	
5月&9月:第1種・第2種電気工事士試験				7月:施工管理試験				11月:現場代理人講習					



## 6.実施した取組内容

数年ぶりに社内で安全大会を開催しました。エコアクション委員が実行委員となり、消防局を招いての訓練や安全講和などを聞いて、安全について考える機会となりました。



その他の安全大会にも参加したり、安全パトロールの強化も行っています。



女性の目線から見る安全大会パトロールを開始しました！  
主に衛生面、熱中症対策、安全書類関係を重点的に見ています。



第.....号  
熱中症予防教育 修了証

氏 名  
生 年 月 日

上記の者は、標記の講習を修了したことを証します。  
令和6年07月02日 交付 ※厚労省通達による管理者向けカリキュラム

(一財)中小建設業特別教育協会  
東京都中央区八丁堀4-2-1 東京リアル宝町ビル4F



カンサイフェアにて、子供たちに電気工事のお仕事体験・高所作業車の乗車体験のイベント。  
弊社社員も青年部として参加しました。



例年協力をさせていただいている夏祭りの照明や配線のご協力もさせていただきました。



春日高校の生徒さんが、弊社代表へインタビューに来社されました。

太陽光発電、パネルの廃棄問題、EV、エコシップなど含め、SDGsの内容についてもお話させていただきました。



月1回全社員で会社の周辺の清掃活動を行っています。

近隣の方より、  
「いつもありがとうございます」  
とお声かけいただきました！



筑紫台高等学校での書籍の寄贈式、立花学園への私募債の寄贈式

寄贈式に

出席して参りました



私募債の贈呈式が行われました！



2024.1.22

ペットボトルキャップを寄付し子供たちの絵本へ。また使用済み切手も集めて寄付する予定です。

ペットボトルキャップ  
寄付いたしました！



昨年は2116個、  
今年は3361個を  
寄付させていただきました



4 換金された代金は全額が「手紙を書こうプロジェクト」事業に充てられます

手紙を書こう！プロジェクト

TIME CAPSULE MAIL  
タイムカプセル郵便

Otegami フリマ  
Otegami フリマ

WORKSHOP  
ワークショップ

ゆうびん de 自由研究

ご協力ありがとうございます

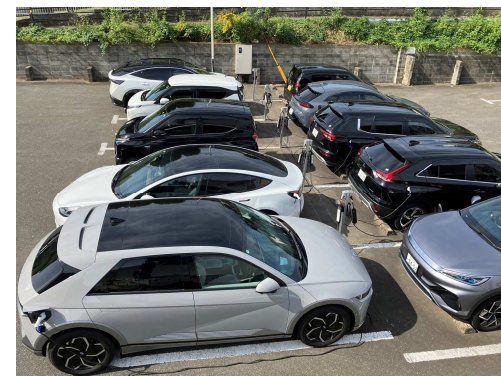


## 堀内電気グループで使用しているEV自動車

通勤車に会社補助でEV車をリースできる  
Hakobuneを導入しました。(現在は3台利用中)

社用車に合計7台のEV車を使用。  
(アリア、テスラ(モデル3)、eKクロス2台、ATT03、  
DOLPHIN、エクリブスクロスなど)

またEV充電器の設置工事も、多数  
施工しています。



Hakobuneとはサブスク形式(月々定額)で“通勤用EV”  
と“職場充電環境”をセットで提供する日本初”の  
法人向け”サービスです。

サブスク形式で  
EVと充電環境を提供



社員はEVで通勤  
職場充電により  
クルマ通勤環境  
を快適に



任意保険や  
メンテナンス費用  
も含まれ、  
プライベートでの  
利用も可能



参照元：Hakobuneとは？  
<https://www.hakobune-jp.com/about/>



## SMAS e-PARK 福岡 EV充電器の設置工事の無料相談会の様子





事業として行っている屋根貸して事業（PPAモデル）も好評で、SDGsの活動につながるということで、銀行様が紹介にも力を入れて下さっています。

初期費用0円で太陽光発電設備を設置できることやSDGs貢献などの企業価値向上に繋がるため、多くの引き合いをいただいております。



## 屋根貸して事業の施工実績



多数のお問合せやご依頼をいただいております、実績は10件以上となりました。今後の予定も多数ございます。

## 7. 2024年度 環境経営目標実績

目 標			単 位	目 標 の 目 安 (直近5年間の数値平均 による基準値)	実 績 値	達 成 率	達 成 状 況
事務所 ・現場	二酸化炭素排出量の削減		kg-CO2	109,949	93,417	117%	○
	事務所	電気使用量	kWh	67,286	70,611	95%	△
	事務所	ガソリン使用量(事務所)	L	7,629	7,241	105%	○
	事務所	燃費	L	13.20	11.90	90%	△
	現場	ガソリン使用量(現場)	L	19,744	17,918	110%	○
	現場	燃費	L	12.00	11.50	96%	△
	現場	軽油使用量	L	3,343	2,582	129%	○
事務所	コピー用紙使用量の削減		kg	263	536	49%	×
事務所 現場	産業廃棄物排出量の削減		t	37.68	23.4	161%	○
現場	建設リサイクル推進		%	94.3	96.0	102%	○
現場	LED照明及び太陽光発電設備 の提案・販売 ※2025年度より数値化		件	187	209	112%	○

事務所	水使用量の削減(ビル内共用)	-	個別計測不可 節水を心掛ける	個別計測不可 節水を心掛ける	-	○
事務所	ペットボトルのキャップの回収	-	ペットボトルキャップを 集めて再資源化へ	ペットボトルキャップを集めて 再資源化へ	-	○
現場	地域イベント時の設営協力、協賛など	件/年	5	多数行えた	-	○
事務所	地域清掃	回/月	1回/月	1回/月(12回/年)	100%	○
事務所	事務用品のグリーン購入の推進	-	グリーン購入優先購入	グリーン購入優先購入	-	○
現場	再生材有効活用	-	再生材有効活用	再生材有効活用	-	○
現場	化学物質の適正管理	-	使用製品に含まれる化学 物質適正管理	使用製品に含まれる化学 物質適正管理	-	○
現場	環境配慮した現場施工	-	環境配慮低公害機械、器 具使用推進	環境配慮低公害機械、器 具使用推進	-	○
現場	船舶用太陽光発電システム・ 屋根貸して事業の普及	-	広告・広報などで普及活動	広告・広報などで普及活 動	-	○
事務所 現場	人材確保・人材育成	-	地域学校との連携など人材確 保・社員教育の充実	地域学校との連携など人材確 保・社員教育の充実	-	○
<p>社用車として、電気自動車・PHEV・ハイブリッド車を積極的に採用している。今後も燃費の算出やエコドライブ実施など、社員一人ひとりの意識向上を継続して行っていきたい。2024年より新たに通勤車(社用車兼用も含む)にも電気自動車の導入を促すための会社の補助を導入した。</p> <p>2022年3月より本社屋上・壁面に太陽光と蓄電池を設置し、事業を活かした環境に優しい取り組みを行っている。新たな事業として「大型蓄電池事業」「屋根貸して事業」など太陽光発電の普及に努めている。</p> <p>今年度はコピー用紙使用量が大幅に増加したため、あたためてペーパーレスや裏紙使用を呼び掛けている。</p>						

CO2排出係数は九州電力のCO2調整後排出係数(2023年度)0.402kg-CO2/kWhを使用しています  
達成状況は、達成率100%以上:○ 90%以上99%未満:△ 90%未満:×  
もしくは実行されている:○ 実行されていない:× 判定できない、該当しない:ー

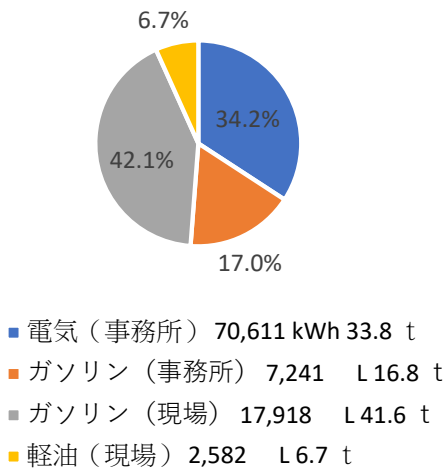
8. 環境目標・活動計画の実績と次年度の取組（2024年度）

1.二酸化炭素排出量削減

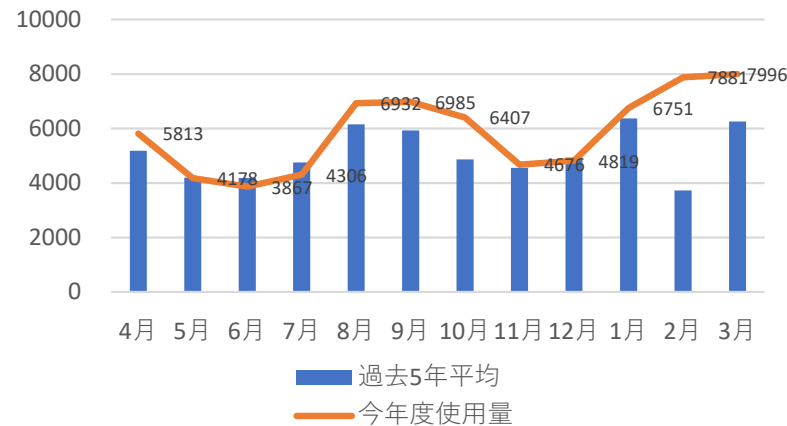
二酸化炭素排出量の項目ごとの割合

項 目	年間消費量		CO2 [ t ]		割合
電気(事務所)	70,611	kWh	33.8	t	34.2%
ガソリン(事務所)	7,241	L	16.8	t	17.0%
ガソリン(現場)	17,918	L	41.6	t	42.1%
軽油(現場)	2,582	L	6.7	t	6.7%
合 計			98.9	t	100.0%

二酸化炭素排出量の割合

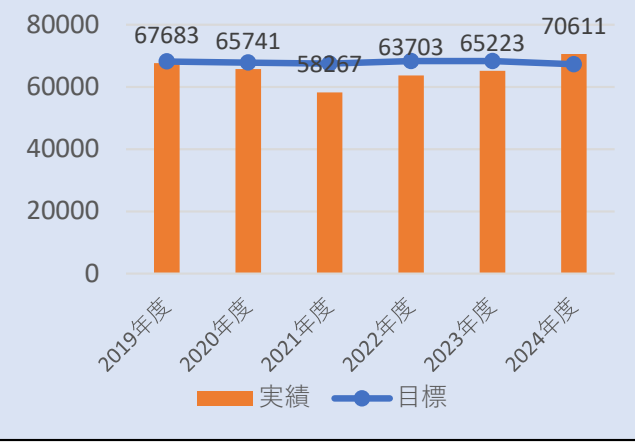


電気使用量5年平均（月ごと）と  
今年度の使用量

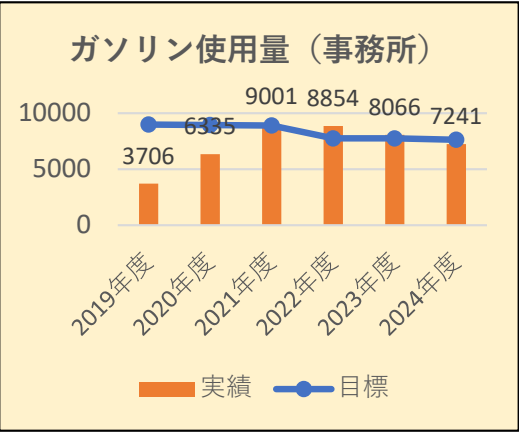


やはり夏と冬の時期にピークが来ており、今年度は特に冬の時期は購入量が多く目標達成ができなかった。  
弊社では太陽光の発電量も関係しているの、冬の時期は発電量が少なくこのような結果につながっている。  
削減に向けて1人1人ができることをやっていきたい。

電気購入量（事務所）



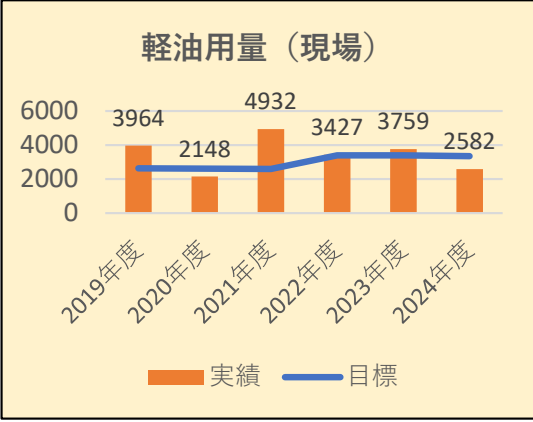
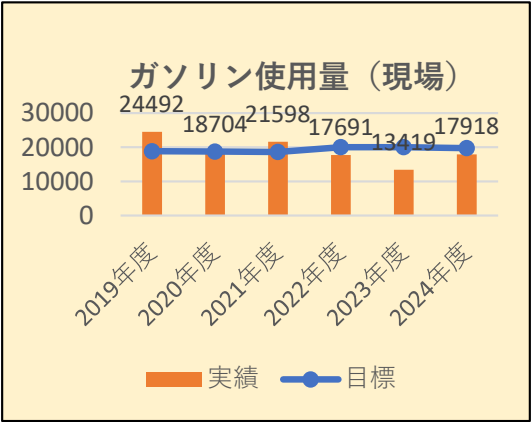
	4月	5月	6月	計	7月	8月	9月	計	10月	11月	12月	計	1月	2月	3月	計	合計
2019年	6,476	4,734	4,700	15,910	4,957	5,901	6,042	16,900	5,630	4,567	4,948	15,145	6,575	6,761	6,392	19,728	67,683
2020年	6,450	5,924	4,585	16,959	3,982	5,937	5,533	15,452	5,857	5,289	3,924	15,070	4,735	6,907	6,618	18,260	65,741
2021年	4,675	3,187	3,397	11,259	4,400	5,898	5,965	16,263	3,864	3,724	4,533	12,121	6,260	6,295	6,069	18,624	58,267
2022年	4,769	3,596	3,553	11,918	4,554	5,985	6,527	17,066	4,909	4,035	4,498	13,442	7,517	7,354	6,406	21,277	63,703
2023年	3,566	3,541	4,691	11,798	5,880	7,063	5,578	18,521	4,063	5,168	6,769	16,000	6,772	6,319	5,813	18,904	65,223
5年平均	5,187	4,196	4,185	13,569	4,755	6,157	5,929	16,840	4,865	4,557	4,934	14,356	6,372	6,727	6,260	19,359	64,123
2024年度	5,813	4,178	3,867	13,858	4,306	6,932	6,985	18,223	6,407	4,676	4,819	15,902	6,751	7,881	7,996	22,628	70,611 kWh



環境目標	単位	目標数値	結果	達成率	達成状況
二酸化炭素排出量削減	kg-CO <sub>2</sub>	109,949以下	93,417	117%	○
(事務所)電気購入量の削減	kWh	67,286以下	70,611	95%	△

環境目標	単位	目標数値	結果	達成率	達成状況
(事務所)ガソリン使用量の削減	L	7,629以下	7,241	105%	○
(事務所)燃費	km/L	13.2以上	11.90	90%	△
(現場)ガソリン使用量の削減	L	19,744以下	17,918	110%	○
(現場)燃費	km/L	12.0以上	11.50	96%	△
(現場)軽油使用量の削減	L	3,343以下	2,582	129%	○

環境計画の次年度の取組
過去5年分の平均から目標を設定し、EV自動車が増えた影響かガソリンは削減できている。PHEVやハイブリッド車導入の効果も大きいのではないかと思います。今後も環境維持に努め、1人1人が燃費を意識しながらエコドライブを実施し、エコカー導入も進めていく。
※排出係数：九州電力2023年調整後0.402kg-CO2使用



月次達成状況と四半期ごとの評価

第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
第1四半期評価			第2四半期評価			第3四半期評価			第4四半期評価		
年度が変わり、環境経営目標への取組みを社員1人1人が意識をもって行動するよう呼びかける。			毎月話し合いを行っており、改善点なども話し合えた。			各部署ごとの会合や、委員会での意見の出し合いもできているので、継続して行う。			冬は電気使用量が上がるので、ウォームビズ等出来ることを行う。アルコールチェックと燃費の記録の徹底を所属長より再度呼びかけ。		

## 2.廃棄物排出量削減、リサイクル率向上

環境目標	単位	目標数値	結果	達成率	達成状況
①コピー用紙使用量の削減	kg	263以下	536	49%	×
環境計画の次年度取組					
今年度はコピー用紙使用量が大幅に増加してしまった。新規事業や増員によるものが考えられるが、今後もペーパーレス、裏紙使用を呼びかけていく。					

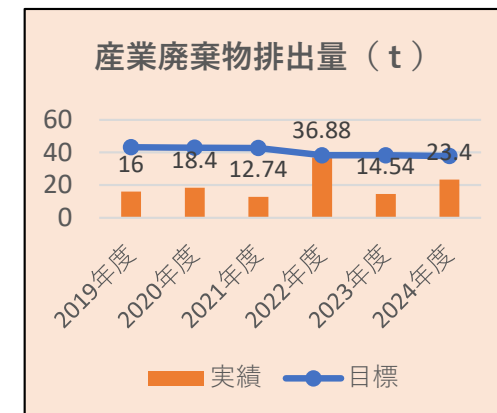
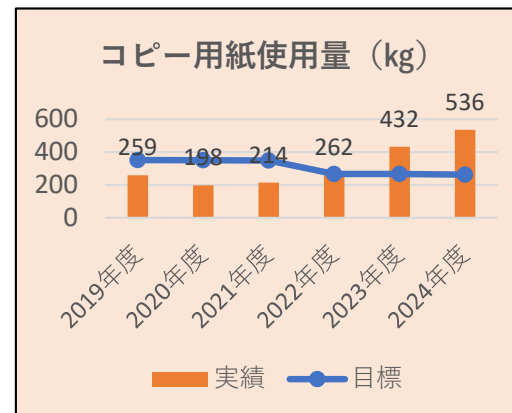
環境目標	単位	目標数値	結果	達成率	達成状況
②産業廃棄物(実績把握)	t	37.8以下	23.4	161%	○
環境計画の次年度取組					
過去5年間の平均値から出した目標を達成できている。今後も分別・削減を心がける。					

環境目標	単位	目標数値	結果	達成率	達成状況
③建設材料リサイクル取組	%	94.3	96	102%	○
環境計画の次年度取組					
他の現場で余った材料を把握し、有効活用を積極的に行った。					

## 3.水使用量の削減

環境目標	単位	目標数値	結果	達成状況	環境計画の次年度取組
水使用量削減	-	節水を心掛ける	節水への意識付け出来ている。	-	定着しているので今後も継続して行っていく。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
第1四半期評価			第2四半期評価			第3四半期評価			第4四半期評価		
実施できている。			実施できている。			実施できている。			実施できている。		



### 月次達成状況と四半期ごとの評価

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
第1四半期評価 プロジェクターやパソコンを持参して会議を行うなど、ペーパーレスに努めた。産業廃棄物の実績把握は出来ている。			第2四半期評価 ペーパーレスに努めた。産業廃棄物の実績把握は出来ている。			第3四半期評価 ペーパーレスに努めたが四半期で見ても達成は難しい。全体に周知し、意識を持つ。			第4四半期評価 ほとんどの会議でパソコンを持参し、ペーパーレスが実行できているが、目標達成は難しい。		





#### 4. 社会貢献活動

環境目標	単位	目標	結果	達成状況	環境計画の次年度の取組
ペットボトルキャップ回収	個	ペットボトルキャップを集めて再資源化	3361個を持ちこみ、子供たちの絵本ヘリサイクル	○	定着しているので、今後も継続して行っていく。
地域イベント時の設営協力	回	5回/年を目標としている	夏祭りが数年ぶりに開催され、手伝いを行えた。それ以外のボランティアにも参加。	○	今後開催があれば積極的に行っていく。
地域清掃	回	1回/毎月	毎月第3月曜日に全社員で行った	○	周辺道路の範囲を広げて、確実に実施できているので、継続して行う。

月次達成状況と四半期ごとの評価

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
第1四半期評価			第2四半期評価			第3四半期評価			第4四半期評価		
月に一回、社員全員参加の会社周辺のゴミ拾いをさらに範囲を広げて行うようになった、			夏祭りが去年に続き開催され配線等の協力ができた。また青年部として子供向けイベントも行った。			一斉清掃はしっかり全社員で行えている、			清掃・ゴミ拾いを継続して行っている。来期についても継続して行う話し合いを行った。		

#### 5. 化学物質使用量削減 環境目標

環境目標	単位	目標	結果	達成状況	環境計画の次年度の取組
化学物質適正使用配慮	-	適正な使用と把握	管理はできている。	○	継続して、適正使用と把握を行っていく。

月次達成状況と四半期ごとの評価

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
第1四半期評価			第2四半期評価			第3四半期評価			第4四半期評価		
使用実績なし。			9月に保管分を使用。			使用実績なし。			使用実績なし。		



4 換金された代金は全額が「手紙を書こうプロジェクト」事業に充てられます

手紙を書こう！プロジェクト

TIME CAPSULE MAIL

タイムカプセル郵便

Otegami フリマ

WORKSHOP

ワークショップ

ゆうびん de 自由研究

ご協力ありがとうございます

## 6.製品・活動・サービスの環境目標

環境目標	単位	目標	結果	達成状況	環境計画の次年度の取組
省エネ・省エネ型設計・施工の提案	件	187件	209件	○	太陽光、省エネ製品の提案、公共工事への入札参加も積極的に行っていく。
環境配慮した施工によるクレームゼロ	件	0件	クレーム等はなかった	○	工事等に伴う環境への苦情0件を目指し、苦情があった場合は誠意をもって対応する。

月次達成状況と四半期ごとの評価

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
第1四半期評価			第2四半期評価			第3四半期評価			第4四半期評価		
会議などで今期目標を掲げ、積極的に営業活動を行う。			入札を積極的にに行い、公共工事を受注。			実施できている。			実施できている。		



## 7.課題とチャンスから環境目標

環境目標	単位	目標	結果	達成状況	環境計画の次年度の取組
船舶用太陽光・屋根貸して事業の普及	-	広告・広報による普及活動	SNSや広告に掲載するなど積極的に実施できた。	○	次年度も引き続き、屋根貸して事業、自家消費型太陽光や蓄電池、エコにつながる商品や施工に力を入れていきたいと考えている。
人材の育成(勉強会・展示会参加)	-	情報収集	会場で実施されるものの多数あり、積極的に行えた。	○	会場での開催も増えてきたので、各部署でも積極的に参加できた。今後も情報収集や社員教育のため積極的に参加していきたい。
人材の確保	-	学校・紹介会社との連携	高校へ訪問したり、女性社員を積極的に採用するなど	○	今後も学校等と連携を保ちつつ、働きやすい環境作りをしていきたい。

月次達成状況と四半期ごとの評価

4月・5月・6月	7月・8月・9月	10月・11月・12月	1月・2月・3月
第1四半期評価	第2四半期評価	第3四半期評価	第4四半期評価
4月:低圧電気取扱教育 5月:蓄電池講習会、展示会 日本赤十字社募金 6月:熱中症予防教育、展示会 筑紫台高校へ書籍寄贈	7月:カンサイフェア(子供向け電気工事のイベント・高所作業車体験) 夏祭りの電気設営 7~8月:インターンシップ受入れ 8月:ペットボトルキャップ寄贈 9月:EV自動車イベント出店 太陽光セミナー、新入社員研修	10月:安全大会(消防による訓練) 組合の安全大会 11月:現場代理人講習 12月:香椎工業交流会 公共工事安全講習会、 管理職講習、経営陣講習	1月:どっと原価説明会 2月:PVEXPO、化学物質管理者講習 高校部活動後援会へ寄付 3月:保護具着用責任者講習 パワーポイント講座



## 9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果 並びに違反・訴訟等の有無

○当事業所に適用される環境関連法規についてその遵守状況を確認した結果、法令違反等の指摘はありませんでした。

○また関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

法律名等	要求事項
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	事業系一般廃棄物、産業廃棄物、適正処理
建設リサイクル法	電気工事に伴う廃棄物の抑制、再資源化取組
フロン排出抑制法	第一種特定製品（エアコン）の簡易定期点検実施
電気事業法	電気工作物の工事、維持及び運用 キュービクル式高圧受電設備届出、法定点検
騒音規制法	騒音規制工事の届出、規制基準遵守
振動規制法	特定建設作業の届出、騒音の規制基準の遵守

## 10.代表者による 全体評価と見直しの結果

### (1) 代表者による全体評価

- 環境目標を達成する為の環境活動は適正に実施されていると判断します。
- 実施体制は適正に実施されていると判断します。
- 活動を正しく評価する為には、基礎となるデータの正しい把握が基本ですので、データ整理を確実に行うとともに、定期的な評価も堅実に実施するよう指示しました。
- 今年度の目標は過去5年間の数値を考慮した目標値を設定しました。今後も社員一同目標達成に向けて努力してまいります。
- 今後も二酸化炭素排出削減に向けて全社員で取り組み、エコドライブ実施や電気使用量削減に努めていきます。社用車の電気自動車、ハイブリッド車の導入を積極的に進めております。新たに通勤車にも電気自動車を導入しました。
- その他環境投資も積極的に行っており、2022年3月には本社ビルにも新たに太陽光発電設備（屋上・壁面）を取付けました。
- 船舶用太陽光発電・蓄電システム事業を展開しております。
- 2023年度は青年優秀施工者表彰をいただき、今後も技術力の向上・丁寧な施工を心掛けたいと思います。  
また人材の確保と、社員教育による優秀な人材の育成にも力をいれていきたいと思っております。

### (2) 見直しの結果

- 今後も経験を活かしたLED照明及び太陽光発電設備の提案をするなど、積極的な営業活動を行っていきます。
- 今後の課題として、25年以上に渡る太陽光発電施工実績の経験と技術を活かし、常に新しいものを視野に入れ先を見据えた活動に取り組んでまいりたいと思います。

### (3) 次年度の目標

- 次年度の2025年度の目標は、新たに過去5年間の平均の数値による目標値を設定しました。
- 新たな取り組みとして始めた「蓄電池事業」「屋根貸して事業」の普及による太陽光発電事業を通じた脱炭素化への貢献にさらに尽力していききたいと思います。